

成和東小だより

No.11

2023(令和5)年9月29日

学校長 堀川 実和子

全国学力・学習状況調査の結果から

小学校6年生を対象として4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されました。この調査は子どもたちの学力や学習に関わる現状を把握し、授業や生活の改善に役立てることを目的に毎年行われています。今年度は、国語と算数の2教科と児童質問紙調査が行われました。結果から見える本校の子どもたちの状況等についてお伝えします。

学力調査結果より



◇国語「全国に比べて、上回っている」

◇算数「全国に比べて、上回っている」

※「全国に比べて、上回っている」→学校の平均正答率が、全国の平均正答率より、5%以上上回っている。

※理科は3年に一度行われていて、次回は令和7年度の予定です。

【本校の子どもたちの強み】

◇国語…送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる。

中心となる言葉や文を見つけて要約することができる。

目的や意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができる。

◇算数…伴って変わる2つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる。

2次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。

()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連づけて読み取ることができる。

【本校の子どもたちの弱み】

◆国語…図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。

— たとえばこのような問題がありました(抜粋) —

川村さんは、選んだカードをもとに、学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。

あなたが川村さんなら□に入る部分をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

(条件)

○学校の米作りの問題点については、川村さんの文章の中に出てくる【グラフ】と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。

○問題点の解決方法については【カード⑤】をもとにして書くこと。

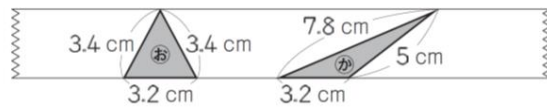
○60字以上100字以内にまとめて書くこと。

→ この問題の「条件」として、【グラフ】と【カード④】のそれぞれから分かることを…と書かれていますが、どちらかのことしか書かれていない解答が多くありました。

◆算数・・・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係をもとに面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。

—たとえばこんな問題です(抜粋)—

えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような2つの三角形をつくります。



上の(お)と(か)の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の 1~4の中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1、(お)の面積の方が大きい。
- 2、(か)の面積の方が大きい。
- 3、(お)と(か)の面積は等しい。
- 4、(お)と(か)の面積は、このままでは比べることはできない。

→番号で、正解の3番を選ぶことはできても、選んだわけの記述で、底辺と高さの2点に着目する必要があるところを、底辺についてしか書かれていない解答が多くありました。

【児童質問紙調査より】

<抜粋> * ()は全国の割合

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだ。→ 100% (96.9%)

○人の役に立つ人間になりたい。→ 100% (95.9%)

○自分と違う意見について考えるのは楽しい。→ 83.3% (76.5%)

○学校の授業以外に1日あたり1時間以上勉強をしている → 66.7% (57.1%)

○地域や社会をよくするために何かしてみたい。→ 100% (76.8%)

○外国の人と友だちになったり外国のことについてもっと知ったりしてみたい。→ 88.9% (72.5%)

○授業で学んだことを他の学習に生かしている。→ 83.4% (81.9%)

○学級では、互いの意見の良さを生かして学校生活をより良くする方法を決めている。

→ 83.3% (77.2%)

また、国語・算数とも「国語・算数の勉強は好き」「国語・算数の勉強は大切」「国語・算数の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つ」の項目において、肯定的に回答している児童の割合が、全国平均を上回っています。これらのことが学習意欲にもつながっていると考えます。

今回の調査問題の結果から、どの教科においても「自分の考えを書く」と、自分の考えを話したりほかの子の考えを聞いたりする「話し合う」活動を大切に授業を行ってきたことや、家庭学習でもつまずきが見られる問題を中心に復習プリント等に取り組んできたことが、子どもたちの成長につながっていると感じました。

今後も、基礎・基本の定着を図り自分の考えを表現する力をつけるための授業を工夫するとともに、復習プリント・タブレット等を活用しながら学習を進めていきます。ご家庭の方でも、引き続き基本的な生活習慣(同じ時刻に起きる、寝る、ご飯を食べる等)や、家庭学習、読書の習慣を身につけられるような環境づくり等にご協力いただき、学力向上につなげていければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。